

## 第1回生駒市総合計画審議会（第三部会）

開催日時 平成29年7月25日（火） 13:30～

開催場所 生駒市役所 401・402会議室

出席者

（委員）高取部会長、谷中委員、藤尾委員、村上委員

（事務局）坂谷政策企画推進課長、岡村政策企画推進課課長補佐、日高政策企画推進係長、  
片山政策企画推進係員

欠席者 なし

議事内容

(1)各小分野の検証

(2)その他

【事務局】（開会宣告、配布資料確認）

以下、発言要旨

№. 211 母子保健

【藤尾委員】 母子保健推進員をしているが、公募市民が集まらず人材不足が否めない。ボランティア自身の高齢化が進んでおり、次の世代のボランティアを育成しなければならないと思う。行政サービス自体は、昔と比べると充実している。

【高取部会長】 指標は行政側の取組が挙げられている。市民の活動が反映されていないので評価の際には考慮したい。評価としては、Bが妥当だと思う。よろしいか。

【各委員】（異議なし）

№. 212 保育サービス

【谷中委員】 待機児童は、今後どのように推移していくと予想しているのか。

【事務局】 今後については、未知数だが横ばいか微増を予想している。行政としては、保育所の増築や小規模保育所の誘致、企業内保育所の設置促進など様々

な取組をしており、児童受入数は、平成23年度時点では1,600人だったが、平成28年度時点では2,245人に増加した。保育所に預けたい親が増えており、それでも待機児童がなくなるのが現状である。

【谷中委員】 幼稚園の希望者が減って、保育所の希望者が増えているのであれば、幼稚園の空いた分を保育所のニーズに対応できれば、待機児童の減少にもつながると思う。

【事務局】 現状として、幼稚園のこども園化にも取り組んでいる。先生の雇用形態の問題もあり、一度に実現はできないが、前向きに進めている。

【高取部会長】 待機児童がなくなる背景や事情も理解できるが、様々な取組をしているにも関わらず、数年続けて目標に至らないということは、目標値が相応しくないのではないかと思う。

【藤尾委員】 他市では、私立が主流になっており、高くてもそれに見合ったサービスが提供されている。公立の保育所も中身を問われる時代になっている。生駒らしさのある保育所を期待する。

【事務局】 目標値については、後期基本計画策定時の目標を使用しているもので、実情と差が出ているものもある。

【谷中委員】 新しく保育所を作っても、今後子どもが減ったときにバランスが取れなくなるので、先を見据えた取組をしてほしい。

【村上委員】 この分野は、自分に関わりがないと分かりづらい。時代のニーズに合わせた取組をしていく必要があると思う。安心して子どもを預けることができれば、少子化の対策にも繋がるのではないか。

【高取部会長】 ちゃんと預けることができるのであれば産むという発想もある。この小分野の「4年後のまち」にもあるとおり、「子育てと仕事を両立させたい家庭やひとり親家庭が安心して就労できる環境が整えられている」かが重要である。待機児童については、様々な取組がなされ、徐々に目標に近づきつつあるということでCでも良いのではないかと思う。

【事務局】 「4年後のまち」が実現されているかを尋ねた市民実感度は、前回の57.8点から61.6点に上昇している。市民の実感としては4年後のまちに近づいてきていると認識されている。

【高取部会長】 市民実感度も上がっているということで、評価としては、Cでよろしい

か。

【各委員】（異議なし）

#### No. 213 子育て支援

【藤尾委員】 近所とあまり関わりを持ちたくない時代になってきていることが、様々な問題を生んでいると思う。地域のおじいちゃん、おばあちゃんが一緒になって子育てすることが大事だと思う。他人と関わる機会を提供することで、自分の子どもの家にいる時とは違った一面が見えたりもする。また、地域の人たちのような第三者からの意見は素直に聞けるので、親自身も成長しやすい。他人の中で子育てできる場づくりを行政が取り組まれたい。

【谷中委員】 周りからの助けがないと良好な親子関係が築けないこともある。地域の人たちが支えてあげることも大事だと思う。様々な世代が集える機会が必要。

【高取部会長】 一昔前とは時代が変わっており、昔は、人づてでしか伝えられなかったものが、今は、簡単にインターネットで検索して知ることができる。子ども会や老人会などの地域ぐるみの活動も衰退してきている。評価については、指標もすべて達成しており、B評価で良いと思う。よろしいか。

【各委員】（異議なし）

#### No. 221 幼稚園教育

【藤尾委員】 スクールボランティアはたくさんいるだろうが、高齢化に伴って、活動が減ってきている。とても良い活動なので、次の世代に繋いでいくことが必要だと思う。

【谷中委員】 次の世代のボランティアを見つけて育てることは難しいがとても重要だと思う。

【藤尾委員】 寿大学の卒業生など、人材は豊富なので、そういった人材をどのように活用できるかは行政の手腕だと思う。一声掛けることができるか、上手に人を動かすことが大事。

【高取部会長】 「4年後のまち」として目指すところは、幼稚園、保育園、学校、家庭、地域が連携のもと、就学前教育が進んでいるかどうか。地域の取組として

は、読み聞かせボランティアも大事な取組だと思う。指標の連携事業も年々増えており、目標を達成している。評価としては、Bで良いと思う。よろしいか。

【各委員】（異議なし）

#### №． 2 2 2 学校教育

【藤尾委員】 食育ラウンドテーブルのような体験型のイベントをすることが大事だと思う。インターネットですぐ調べられる時代だからこそ、実際に体験することで一生モノの経験をさせることができる。一生モノの経験は、老後の健康づくりにまで影響してくると思う。

【高取部会長】 スクールカウンセラーへの相談は、こういった内容が多いのか。また、相談件数が多いこと自体は評価できるのか。

【事務局】 相談内容としては、不登校の相談が多い。相談件数を指標としていることについては、まずは問題を把握しないことには、解決につなげられないということで、増加目標として指標にしている。

【高取部会長】 目指すべき「4年後のまち」では、「児童生徒が安心して楽しく学ぶことができる環境が整えられている。」となっているので、エアコンの設置や通学路の安全確保などハード面の指標があっても良いのではないかと思う。評価としては、Bでよろしいか。

【各委員】（異議なし）

#### №． 2 2 3 特別支援教育

【高取部会長】 意見はあるか。

【各委員】（特になし）

【高取部会長】 評価は、Bで良いと思う。よろしいか。

【各委員】（異議なし）

#### №． 2 3 1 生涯学習

【藤尾委員】 文化施設の会議室等が使いづらくなった。活動場所がなくて解散した生涯学習グループも多い。生涯学習グループが活動するためには、活動場所

は不可欠なので、場所の確保をしてもらいたい。団体活動がしやすい環境づくりを進められたい。

【谷中委員】 寿大学の活動など、この小分野においては様々な取組をされており、印象としてはB評価でも良いのではないかと思う。

【藤尾委員】 最近では寿大学卒業後に、地域に戻って活動する意識が薄れているように思う。地域のボランティア活動につながっていない。気の合う仲間だけでの小規模なグループに留まってしまっている。事務局が上手く声掛けをし、地域で活動するボランティアの確保に取り組んでももらいたい。

【村上委員】 確かに小規模なグループに留まってしまっていると思う。高齢化が進んで、ますます生涯学習が重要になってくる。最近では、気軽に挨拶もできないくらい高齢者と子どもの関わりが薄くなっているが、老いていくということはこういうことだということ子どもたちに見せることも高齢者のひとつの役目だと思う。

【高取部会長】 市民が実際にどれだけ活動しているかが、この分野において重要なことであり、それを表す、人材バンクの活用件数や、補助指標の自主学習グループのボランティア活動件数などが目標を達成していることは、とても評価できる。評価はBでも良いと思う。

【藤尾委員】 市民はやる気に満ち溢れているが、その意欲を上手く地域の活動に活かせていないところがある。ファシリテーター役の人がいれば、一気に進むのではないか。

【高取部会長】 重要な指標が達成されているということで、評価をBに上げてよろしいか。

【各委員】 (異議なし)

#### No. 232 青少年

【藤尾委員】 地元の祭りに、地元の若者が出てこず、近くの大学からアルバイトでもらっている。昔は、青年会が中心となって、地元の祭りを盛り上げていたが、今はそういった活動もしていないように思う。

【事務局】 地縁組織が縮小傾向にある。成人式を企画したグループがその後も活動して、生駒を盛り上げている例もある。

【藤尾委員】 地元を支える若者を育成できているかどうかが重要だと思う。そのような活動を地元にも還元してほしい。

【谷中委員】 昔は、子ども会から始まって、青年会、ゆくゆくは老人会と連続したものだだったが、今はそうでなくなっている。

【高取部会長】 青少年＝大学生という認識が定着してきているように思う。青少年の活動が、サークル活動等の発表の場になってしまっている。大学のサークルが、様々な地域に行かせてもらっているが、そこには地元愛がない。単に発表の場にするのではなく、上手く誘導して、地元のための活動にしてもらいたい。中高生にも目を向けることも必要だと思う。

【事務局】 小学生を対象としたいこま塾やキッズいこまち探検隊など、幅広く青少年に向けて生駒のことを知ってもらう取組をしている。

【高取部会長】 取組も順調で指標も達成している。評価としては、Bでよろしいか。

【各委員】 (異議なし)

【高取部会長】 本日本日予定していた審議案件については以上である。全般的に何か意見等はあるか。

【各委員】 (特になし)

【事務局】 (庶務連絡、閉会宣告)

— 了 —